愛知県議会議員

桜井ひでき

県政レポート

2022年4月
発行：桜井ひでき事務所

現場の声を
県政に!

vol.13

コロナ対策による対応の委員会を、議会中3回開催しました。

message

今こそ弱者にやさしい社会へ

早いもので、県議会議員としての任期4年の最終年となりました。特にこの2年間はコロナ禍の影響により、行事などは自粛や縮小での開催となり、私自身また多くの方が思うような活動が出来なかったのではないでしょうか。そのような中、コロナ禍で増えた自宅時間などを活用し多くの本を読む中で、末富　芳さん著書による『子育て罰』という一冊の本に出会いました。タイトルを英訳すると『チャイルド ペナルティ（子育てにより背負う社会的不利）』となり、子育てするほど生活し難い日本の実情が描かれていました。**コロナ禍における感染拡大による休園・休校により会社を休まなければならない人が増え、それはさらに深刻化しています。現状をしっかりと把握し、社会的弱者に優しい社会になるよう政策に取組んでまいります。**

TOPICS 1

議案質疑をおこないました！

令和4年の愛知県の事業について本会議で質問をしましたので紹介します。

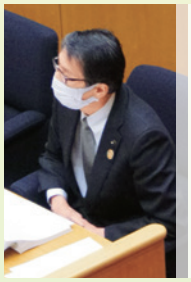
質問1　女性の活躍促進に向けた取組

Q1 新規事業として「あいち女性リーダー育成事業」について事業の狙いと期待される効果について伺う。

答弁 女性リーダーの登用状況は全国平均を下回っていることからキャリアを積み上げステージアップを目指す。成功事例を聞くことで次世代の女性が自身のキャリアを描くことを後押ししていく。

桜井の意見！ 女性が働きやすい職場になるためには男性の意識改革も重要！

質問2　今後の愛知県SDGs未来都市計画の取組

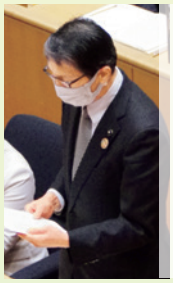


Q2 国が2050年にカーボンニュートラルの実現を目指すという方針を示したことを受け、この計画の中でどのように反映していくのか伺う。

答弁 次期計画では、カーボンニュートラルやデジタル化などの新しい課題にも対応しつつ、新たな数値目標や施策を盛り込んでいく。カーボンニュートラルについては、来年度に改定する「あいち地球温暖化防止戦略2030」を踏まえて、計画期間の途中でも、未来都市計画のさらなる充実を図っていく。

桜井の意見！ カーボンニュートラルの実現に向け、SDGsの取組にも生かすべき！

質問3　愛知県の農業政策に向けた取組



Q3 食の安全が求められている中、愛知県のオーガニックいわゆる有機農業への取組について伺う。

答弁 有機農業の実践に貢献する栽培技術として、堆肥の使用方法や天敵昆虫の利用方法などに関する研究を進めるとともに、交付金を活用して、有機農業に取組む農業者を支援している。今後は、有機農業の指導ができる職員を育成して推進していく。

桜井の意見！ 有機農業について学校給食に広めるため低価格と生産量の確保に取組むべき！

TOPICS 2

令和4年2月定例議会　行動力で愛知を前進させる「躍進千里」予算を議論する議会を開会！

代表質問

2月定例議会が2月17日(木)～3月24日(木)まで開会され、自由民主党·新政あいち·公明党の3会派の代表質問をおこない、新政あいち県議団からは、団長の富田昭雄議員(名東区選出：5期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質した。

質問1　コロナ禍における地域の医療提供体制の確保について

代表質問する富田議員

Q　新型コロナウイルス感染症の感染が始まってから、地域における医療提供体制を確保するためどのように取組んできたのか。また、今後の地域における医療提供体制の確保についてどのように取組んでいくのか伺う。

答弁する大村知事

大村知事 答弁　愛知県では、発熱患者等が地域の医療機関で診療·検査を受けられる体制を県医師会の協力、さらには感染防止対策に係る設備整備や個人防護具の購入費用を補助することにより、1,863施設まで拡充してきた。また、**自宅療養者の体調が悪化した場合、往診、オンライン診療、訪問看護等が受けられる体制を整備して、医療機関751施設、訪問看護ステーション102施設に対応している。PCR検査能力も1日あたり約2万2千件を約4万8千件まで拡充。**更に経口治療薬「ラゲブリオ」について、医療機関からの処方箋に対応し、患者の自宅等へ無料で配送を行う在庫配備薬局346施設を整備し、県民の皆様の生命と健康を全力で守っていく。

質問2　学校における働き方改革と良好な教育環境の整備について

Q　教員の負担軽減や教育環境の整備を図り、質の高い教育を推進していくため、教育委員会として令和4年度に向けて、どのように取組を進めていくのか伺う。

答弁する長谷川教育長

教育長 答弁　学校における働き方改革を進めるため、専門家や外部人材の力を最大限活用して、教員の負担を軽減することが重要であり、**学校における児童生徒の心のケアを充実するため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置を拡充する。**また、GIGAスクール構想の推進に伴い、教員のICTを活用した指導力の向上が必要で**新たに情報通信技術支援員を県立学校に派遣する。**更に休日の部活動における教員の負担軽減を図るために中学校では、地域移行に向けた実践研究を継続。県立高等学校は、単独で大会等への引率をおこなうことができる部活動総合指導員を12人増員し、36校で36人を配置する。一方、**教育環境の整備として35人学級編制を国に先駆けて小学校第4学年に拡充していく。**

質問3　県警察における鉄道安全対策について

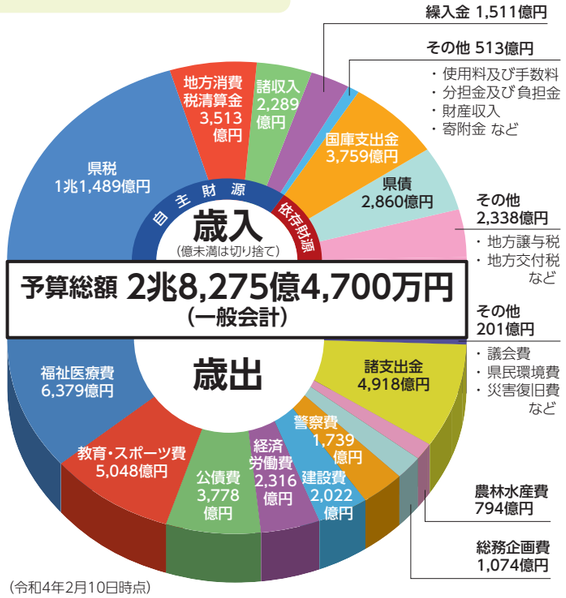
答弁する国枝本部長

Q　鉄道における重大事件が相次いでいる昨今の情勢を踏まえ、県警察において鉄道の安全対策にどのように取組まれているのか伺う。

国枝本部長 答弁　県警察では、近年、各地の鉄道において、刃物等を使用した殺傷事件が相次いでいる情勢を踏まえ、各鉄道事業者と緊急の会合を重ね、更なる諸対策を連携して推進している。すでに、**一部の鉄道事業者において、警備員による列車内の巡回や資器材の増強配備、対処要領の見直しなどが進んでおり、安全に対する意識が一段と高まっている。**また、**県警察も通勤ラッシュ時間帯や高校·大学入学試験等の行事開催時などに、警察官を集中的に動員するとともに、新たに金属探知機等の資器材も整備し、駅のホームや改札口、列車内を巡回して不審者に対する職務質問を徹底するなど犯罪の未然防止に取組んでいる。**今後も各鉄道事業者と緊密に連携してこれらの諸対策を推進し、県民の方々が安心して鉄道を利用できるように、鉄道の安全確保に取組んでいく。

この2月議会に上程された議案は、新型コロナウイルス感染症対応のための補正予算や令和4年度の事業の裏付けとなる当初予算に加え、条例については「愛知県人権尊重の社会づくり条例」の制定他、条例の一部改正すべてを可決して閉会しました。

令和4年度 予算概要



(令和4年2月10日時点)

令和4年度 県予算のポイント

歳入　企業収益は回復するも、新型コロナウイルス感染症拡大の水準には戻らず

企業収益は回復するも、新型コロナウイルス感染症拡大の水準には戻らず2022年度の県税収入は、令和3年度から957億円増の1兆1,489億円。法人二税は、企業収益の回復を反映し965億円の増加するものの、県税全体では、**新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する前の2020年度当初予算の水準(1兆1,669億円)を回復するのは至っていない。**

県税に、特別法人事業譲与税1,306億円を加えると1兆2,795億円となり、前年度から1,454億円の増収となる。

歳出　新型コロナウイルス感染症「克服」と日本の「成長エンジン」としての予算を計上

新型コロナウイルス感染症に係る経費を1,920億円(うち一般会計1,918億円)計上するとともに、**令和4年度から段階の世代が75歳以上の高齢者となることなどに伴い、医療·介護などの扶助費が増加し、3,101億円となった。**

その他、ジブリパーク整備や愛知県基幹的広域防災拠点整備など、新たな愛知県の魅力、安心·安全をつくりだすプロジェクトのための予算を確保した。

令和4年度の主な取組

コロナ対策に加え主な事業の一部を紹介します。

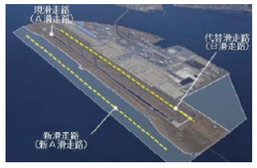
■ジブリパークの整備を推進

ジブリパーク　©Studio Ghibli
(「ジブリの大倉庫」のイメージ)

スタジオジブリ作品の世界観を表現する公園施設「ジブリパーク」が、愛知県長久手市にある愛·地球博記念公園の中に、2022年11月1日、いよいよオープンします!

ジブリパークは全部で5つのエリアで構成され、「青春の丘」、「ジブリの大倉庫」、「どんどこ森」の3エリアが2022年11月に、「ものの け の里」、「魔女の谷」の2エリアが3エリアのオープンから概ね1年後にオープンする予定です。どうぞご期待ください。

■中部国際空港の将来構想に向けた取組



中部国際空港

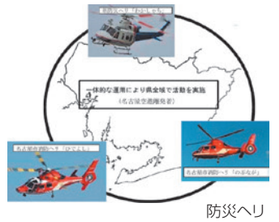
現空港用地と新たに造成される土地を最大限活用して、2段階の整備で滑走路処理容量を現在の約1.5倍とすることを目指す「中部国際空港の将来構想」の実現に向けた取組を進めます。

■あいち航空ミュージアムにT-4ブルーインパルスを展示

航空ミュージアム

東京2020オリンピック競技大会の開会式などで華麗に上空を飛行した現行の機種であるT−4ブルーインパルスの退役機を、あいち航空ミュージアムの新たな機体として展示します。

■愛知県防災ヘリコプター「わかしゃち」の運航を名古屋市に事務委託し、消防防災体制を強化


防災ヘリ

愛知県が所有する防災ヘリコプター「わかしゃち」の運航を名古屋市に委託し、名古屋市所有の消防ヘリコプター2機と合わせて一体的に運用することにより、本県の防災力の向上を図ります。

我々のなかま

参議院議員 浜口誠（はまぐち まこと）さんを紹介します！ Part 4

活動紹介 自動車整備士不足への対策について

総理と自動車整備士との車座対話の実施を要請し、総理の了承を得る

■2021/12/7参議院予算委員会

後日、岸田総理と現役自動車整備士との車座対話が実現!!

岸田文雄首相は13日、東京都品川区の自動車整備工場を訪問し、整備士との車座対話に臨んだ。**人手不足が深刻化する業界の実情を聞いた首相は、記者団に「この分野で頑張っている皆さんの処遇改善、一人一人の賃上げも考えていかなければならない」と語った。**

首相は、自動車整備士の不足問題を巡っては、2021年12月の参院予算委員会で国民民主党が浜口誠議員が「車座対話をやっていただきたい」と求めたのに対し、首相が「直接声を聴く」と約束していた。

新聞記事出典：2022/1/13 毎日新聞デジタル版（一部抜粋）

自動車販売店を視察し、整備士らと意見交換する岸田首相（右端）

はまぐち誠 公式サイトはこちらで検索
はまぐち誠　議員　検索

はまぐち誠チャンネル YouTube

はまぐち誠参議院議員は、トリガー条項の凍結解除への要請や、ウクライナ緊急支援募金など様々な活動に全力で取組んでいます!

日々の活動

12/17（金） 第41回 墨豊会書展を鑑賞

平成26年度豊田市文化振興財団大会におきまして豊田文化賞を受賞されました、書道家「佐々木嵓邦（がんぽう）」氏による作品展が開催され、鑑賞させていただきました。

12/22（水） あいち地球温暖化対策フォーラムに参加

基調講演で日本における温室効果ガスの削減にかかるコストは他国に比べ2倍以上高いことが紹介されカーボンニュートラルの実現に向けた困難さを実感しました。

1/14（金） 次期統一地方選挙にて推薦決定に対する決意表明

全トヨタ労働組合連合会中央委員会において推薦決定をいただき候補者を代表して決意表明をさせていただきました。

1/24（月） 2022年豊田商工会議所新春懇談会に出席

豊田商工会議所主催による新春懇談会に出席させていただき、太田稔彦豊田市長による講演会では、ラリージャパン（WRC）に込めた市長の想いを伺うことが出来ました。

2/13（日） なごや国際オーガニック映画祭に参加

地球温暖化などによる環境問題も悪化する今、食を見直す時期に来ているなか、学校給食の有機化がもたらす社会の変わりようを描いた作品では、食の重要性を再認識しました。

3/12（土） ウクライナ緊急支援募金活動

参議院議員の『はまぐち誠』さんの呼びかけで、豊田市・みよし市の有志議員、スタッフの皆さんと活動をし、市民の皆様の温かい気持ちと強い思いを預かりました。

ホームページを是非ご覧ください ▶ https://sakurai-hideki.com/

発行：桜井ひでき事務所　〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555　FAX 0565-29-0274